

ZENBUTSU 全仏

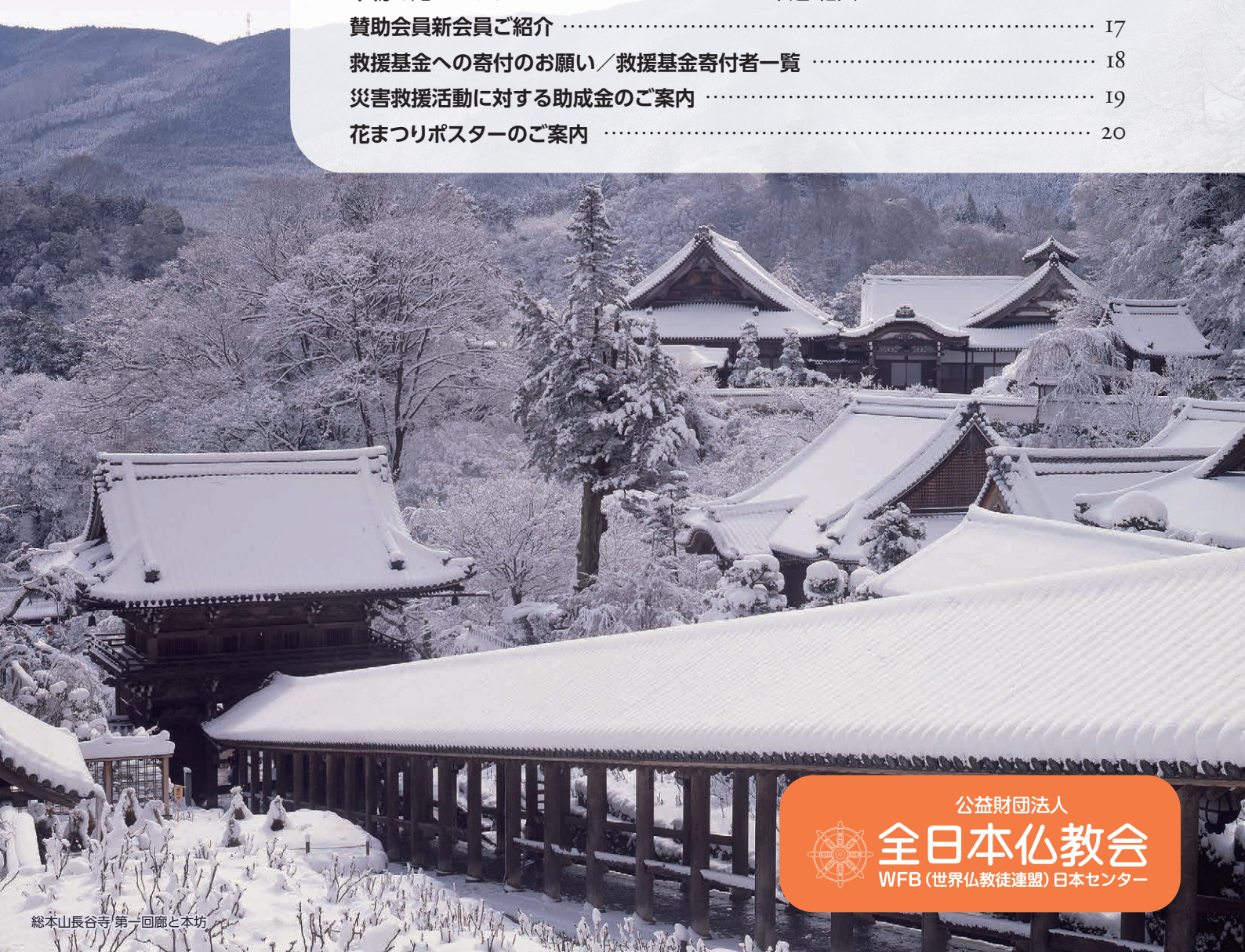
No.
606



仏暦2558年1月
[2015年]

CONTENTS

年頭にあたって 真言宗豊山派管長 第31期公益財団法人全日本仏教会 会長 加藤 精一	2
財団創立60周年にむけて 第31期公益財団法人全日本仏教会 理事長 齋藤 明聖	2
第9回理事会報告／全日本葬祭業協同組合連合会と懇談会／ 仏教主義学校連盟第31回『弁論大会』	3
葬送儀礼を振り返る③ 大正大学文学部人文学科 教授 村上 興匡	4
本物を知ってほしい 日本薫物線香工業会 理事長 中造 和夫	6
賛助会員新会員ご紹介	17
救援基金への寄付のお願い／救援基金寄付者一覧	18
災害救援活動に対する助成金のご案内	19
花まつりポスターのご案内	20



公益財団法人

全日本仏教会

WFB (世界仏教徒連盟) 日本センター

年頭にあたって

真言宗豊山派管長

第三十一期公益財団法人全日本仏教会

会長

加藤 精一

(かとう せいいち)



全日本の仏教徒の皆様、明けましておめでとーうございます。新年を迎え、各位のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

さて、わが国の精神生活は、六世紀中頃に仏教が導入されてから約千五百年、神社と寺院を中心に営まれ、さまざまな紆余曲折がありましたが、現在ではこの二つの宗教が、反目することなく共存しております。つまりおおかたの日本人の心の中には、カミとホトケとが住み分けていて、神社と寺院の両方を、わだかまり無く参拝しているのです。この美風を私たちは大切にしていきたいと思えます。

神仏を尊び、季節ごとに先祖の墓参をするというわが国の宗教形態は、まさに「この国のかたち」ともいふべきもので、世界の無形文化財に登録されるべきであります。

次に、宗教と政治について一言し

ます。私は、全仏の組織をもって特定の政党を支持し反対することは控

えたいと思っております。当然、個人の活動は自由ですが、わが国では歴史的に見ても政教分離を好み、僧侶があまり政治に口を出すよりも、

もっとすることは別にあるだろう、というのをおおかたの受け止めかた

だと思えます。私たちは各宗を開創された偉大な祖師がたの、目指された教えを深く探ってその本来の主張

を示すべきです。大乘仏教の教えには、私たちが人生を歩むための善き

指針がまつております。科学が進歩すればするほど健全な宗教は、ま

すます必要になるのです。

私たち全仏は協力して、健全な政治、科学、文化が出現できるような

精神的な土壌を作っていくかねばならないと存じます。どうぞ今年もよろ

しくお願い申し上げます。

財団創立六十周年にむけて

第三十一期公益財団法人全日本仏教会

理事長

齋藤 明聖

(さいとう あきまさ)



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

理事長就任から半年が経過しましたが、その間、会長様を初めとして皆さまの温かいお力添えを賜り会務を滞りなく執行させていただいておりますこと有難く厚くお礼申し上げます。本年も、仏教文化の宣揚と世界平和の進展に寄与することを念頭に微力を尽くしてまいれる所存であります。各位のご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

本年は、十月三十日から三十一日まで「第四十三回全日本仏教徒会議愛媛大会」が開催されます。少子高齢化による人口減少、葬儀不要を主張する本が売れるなど、仏教界にとって厳しい環境が続く中、実りある大会になるよう念願してやみませ

ん。また、平成二十九年（二〇一七年）には、本会が財団法人となって六十周年の記念すべき年を迎えます。すでに実行委員会も立ち上がり、「六十

周年記念式典並びに第四十四回全日本仏教徒会議」、翌、平成三十年には「第二十九回世界仏教徒会議日本大会」の開催が計画されています。平成二十九年は奇しくも東日本大震災で犠牲になられた方々の七回忌の年に正当することから、被災地での開催が望まれているところでもあります

が、社会の負託に応えうる記念行事となりまますよう、実行委員会各位の叡智を結集していただきたいと思います

してまいります。あわせて勧募活動も本年から実施させていただきます。皆さまの温かいご協力をお願い申し上げます。

さらに、継続的課題として、公益財団法人の規則と、連合体としての本会の整合性をいかにとり運営していくか、また、広報課題の克服を将来展望とする本会の広報体制・機能

について、本会の特徴が生かせる公益目的事業の検討・精査も続けてまいります。

とさせていただきます。

第九回理事会報告

—六十周年記念事業予算が承認—

昨年十月三十日に開催した第九回理事会において、財団創立六十周年記念事業（以下、記念事業）に係る予算及び記念事業実行委員会規程の改正が、全会一致で原案通りに承認された。また、平成二十七年事業大綱及び予算大綱が全会一致で賛同された。その他、評議員選定委員会の開催、第四十三回全日本仏教徒会議愛媛大会等について、事務総局より報告があった。

〔第九回理事会概要〕

日 時：平成二十六年十月三十日
午後二時～

会 場：真宗大谷派宗務所三階会議室

出席理事：十六名（二十名中）

出席監事：二名（三名中）

議 長：齋藤明聖第三十一期理事長

●議案（全議案承認）

第一号：財団創立六十周年記念事業実行委員会規程の改正について承認を求める件

第二号：財団創立六十周年記念事業に係る予算について承認を求める件

●協議事項（全事項賛同）

第一号：二〇一五（平成二十七年）年度事業計画大綱について賛同を求める件

第二号：二〇一五（平成二十七年）年度予算大綱について賛同を求める件

●報告事項

第一号：評議員選定委員会開催について
第二号：東日本大震災支援及び全日本

仏教会救済基金現況について
第三号：本会主催セミナー「伝統仏教と人口減少（仮）」開催について

第四号：第四十三回全日本仏教徒会議愛媛大会について

第五号：第二十七回WFB（世界仏教徒連盟）中国大会参加報告について

●出席者

①理事（総数二十名中十六名出席）

齋藤明聖（真宗大谷派・理事長）

倉澤豊明（浄土真宗本願寺派・事務総長）

千葉省三（曹洞宗）

戸松義晴（浄土宗）

塩崎望己（日蓮宗）

上沼雅龍（臨済宗妙心寺派）

山口正純（真言宗智山派）

菅野秀浩（真言宗豊山派）

岡野正純（孝道教団）

桶屋良祐（念法真教）

石堂恵眼（真言宗中山寺派）

和田大雅（神奈川県仏教会）

伊藤正導（愛知県仏教会）

杉山令憲（岐阜県仏教会）

長澤香静（京都仏教会）

鶴野重雄（京都府仏教連合会）

②監事（総数三名中二名出席）

井桁雄弘（大阪府佛教会）

古澤勝浩（公財）仏教伝道協会

全日本葬祭業協同組合連合会と懇談会 — 現況を共有 —

十一月十四日午後五時から東京・品川プリンスホテルにおいて標記懇談会が開催された。この懇談会は、本会と全日本葬祭業協同組合連合会（以下、全葬連）が、「葬儀」という現場で起こる様々な事象を両団体で共有し、解消に向けた取り組みを行う目的で定期的に開催され、今回で第七回を迎える。

昨年十月に開催した広報委員会研修会（本誌八〇四号・六〇五号に掲載）において報告されたが、全葬連には消費者からさまざまな質問が寄せられている。また、WEB上の葬儀社では、条件が整えば「お布施」もクレジットカードで支払えるなど、想像もつかないことが現実になっている。消費者（檀信徒・門徒）のおかれている環境が大きく変わり、それにつれて地域の「しきたり」も変化する。今に、どのように対応していくか、両団体の参加者から活発な意見交換がなされた。

●出席者

（全葬連）松井昭憲会長、北島廣・清藤哲夫・濱名雅一・石井時明副会長、番作一之常務理事、松本勇輝専務理事、南正毅事務局長。

（本会）齋藤明聖理事長、倉澤豊明事務総長、奈良慈徹総務部長、久喜和裕社会人権部長、加久保範祐広報文化部長、中村甲総務部次長、新倉典生東京都仏教連合会事務局長。

仏教主義学校連盟主催 第三十一回「弁論大会」

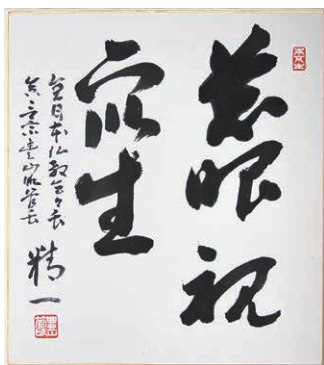
標記大会が十一月二十八日午後一時半より、立正大学付属立正中学校・高等学校の行学ホールで開催された。

仏教主義学校連盟とは、東京近郊の伝統仏教宗派や寺院によって設立された十七校の中学校・高等学校が加盟する連合体であり、第十二回世界仏教徒会議（一九七八年日本開催）が契機となっている。

東京都仏教連合会が後援、本会が協賛となり、仏教の精神を建学の理念とする学校で学ぶ中高生の弁士二十一名が、持ち時間を精一杯使って語りかけた。

今大会では、立正大学付属立正中学校三年生の橋田（きつた）あかりさんが、「古き良き日本」と題して一位となり、併せて全日本仏教会会長賞として、加藤精一本会会長の御染筆の色紙が授与された。

仏教精神を学ぶ一人一人の主張は審査員の方々の胸に響き、年々内容が濃くなり、興味深い大会となっている。各学校でのご指導と、そこに学ぶ生徒の取り組む姿勢の頭れであり、現代のSNS社会の中で改めて、お互いが向き合って語り聴くことの重要性に気付かされた大会であった。



『観音経』偈文の一説 慈眼祝衆生

葬送儀礼を振り返る③

大正大学文学部人文学科

教授 村上 興匡

(むらかみ こうきょう)



5. 「故人のための葬儀」と「終活」

たびたび引用されるものとして仏哲学者ジャンケレヴィッチの「一人称の死」「二人称の死」「三人称の死」がある。それぞれ、「自分の死」「大切な人の死」「他人の死」という意味で、最初の死が「死苦」、二番目が「愛別離苦」である。前節では、とくに高度経済成長期以後から、葬儀では多くの故人を知らない会葬者によってその死は「他人の死」であり、葬儀に会葬するのは義理で形式的なものとの印象をもたれるようになってきたことを述べた。最初の個人化によって、葬儀は遺族を弔問するための儀礼、すなわち二人称の死に関わる儀礼となり、一九九〇年頃からは「自分はどう葬られるのか」という一人称の儀礼に変わった。葬儀は「自己の最終表現」となり、「人生の卒業

式」とも考えられるようになったのである。

明治時代の後期くらいから葬儀費用が冗費(むだづかい)(無駄な費用)であるとの批判があったが、それは「家」や会社などが社会に対して威儀を示す儀礼であったからである。「親の葬式を出して一人前」との言葉のように喪主や遺族の社会儀礼としての性格をもっていたが、そうしたことは「見栄」「無駄」であると批判された。それに対して「自分は無宗教だから従来の仏教式の葬式は希望しない」という形での葬式無用運動が太田典礼らによって始められたのは一九六八年であったが、一九九〇年代以降にはそうした考え方が一般化してくる。

「終活」(人生の終わりのための活動)や「死に支度」という言葉が使われるようになってきたのもこの頃

からである。一九九四年には、アエラ臨時増刊『死の準備―人生の店じまいに』が出版された。自らの死への準備として、持ち物を減らしてゆ〜くシンプルライフが推奨された。身の回りをすっきりさせ心を整理する「断捨離」(ヨガの断行、捨行、離行)とも通じる。「終活」ではモノの整理だけでなく、遺書を作るなどして自らの葬儀や死後の処理の希望を遺すことも含まれる。

「終活」の考え方の背後には、親戚や地域、会社といったしがらみを断ってきた戦後の社会変化を肯定的に評価した上で、その結果として生じた「ひとり死ぬこと」を引き受けていくべきとの姿勢があると考えられる。『おひとりさまの老後』(法研)を書いた社会学者上野千鶴子は、準備された「在宅ひとり死」と無縁死を区別し、ひとりで死ぬこと自体を不幸と思う必要はないとする。おひとりさまの「死に方」として、間をおかず発見してもらえようこまめな人間関係を作ること、遺したら遺された人が困るようなものは早めに処分すること、葬儀や墓の希望を伝えること、必要な費用をあらかじめ用意すること、などの準備をしておくことが推奨されている。

戦後、日本人は個の自立を尊重する社会を作り上げてきた。「まわりに迷惑をかけない」はそれを象徴する。

しかしながら、認知症高齢者の権利保護のための成人後見制度が必要とされることに象徴されるように、高齢単身者の増加は自己に対して完全な責任能力を持ち得ない者の増加を否応なく招来する。誰でも死ぬときはひとりであるといっても、「問題のない在宅ひとり死」を迎えるためには、ある程度の、経済的準備が必要であり、手間もお金もかける能力のない人の葬儀をどうするかという問題になる。

6. 「無縁社会」と「三人称の死」の問題

東日本大震災以降あまり取り上げられなくなっているが、二〇一〇年からNHKが「無縁社会」として、孤独死が年間三万二千人を超えている事態を報じて大きな反響を呼んだ。当初、「無縁」とは、祀り手をなくした死者や墓を意味する無縁仏、無縁墓の「無縁」の意味が強かったが、次第に「働き盛りのひきこもり」「児童放置」「呼び寄せ高齢者」など、日本社会の血縁、地縁、社縁が機能しなくなった生者の側の「無縁」状況が問題とされるようになり、若者たちからも「他人事ではない」との声がNHKに多く寄せられた。孤独死として処理される件数は、十年で二倍となるペースで増加して

いる。無縁死の増加は、少子化および非婚化による家族変化や、都市化による地域社会の変化、亡くなる人の高齢化や非正規雇用の増加などによって死に際して会社関係の人間関係が機能しなくなるなどの現代の社会状況を反映していると考えられるが、東日本大震災での大量死と同じく、自分とあまり関係の深くない他者が隣で死んでいるという事態は、社会における「三人称としての死」の問題を考へざるを得ない状況を生むことになる。

近年、祀り手がなく故郷の墓を片付ける「墓じまい」が問題となっているが、その一方で生前契約によって、死後から弔い上げ（三十三回忌）までの儀礼執行と集合墓への埋葬を契約する永代供養墓が各地に作られるようになってきている。祀り手がなくなった墓から遺骨を合葬する伝統的な「無縁墓」とは、実は外形上の違いがない。前者が死後は孤独でなく「安心して死ねる」であるとするなら、それは死の受け止め方が違うというところにすぎないのではないか。血縁、地縁の縁によって結ばれた社会へと時代を巻き戻すことはもはや難しいため、死の受け止め方の方を変えることで「安心して死ねる」ようにすることが目指されているのだと解釈できる。

アカデミー短編アニメ賞をとった

加藤久仁生監督の「つみきのいえ」という作品はとても示唆的である。舞台になっている街は海面の上昇が進み、主人公の独り暮らしの老人は、今ある家の上に積み木のように次々と家を継ぎ足して生活している。ある日、落としたパイプを探しに潜水服で水中にもぐると、死んだ妻を介護していた家、娘が生まれた家などが次々と現れる。彼はしみじみ昔を回想するが、最後までそこに住み続ける。この「つみきのいえ」自体、積み上げてきた生涯の記憶の塊で、老人にとっての終の棲家、墓のようなものだと考えられる。現在、人口減少に対応して効率化を図るために行政機能を都市部に集めるコンパクトシティ構想が各地で進められている。葬儀と福祉が抱える問題は似ているが、家族で介護ができずに施設に入らざるをえない高齢者や、山村や豪雪地帯などを終の棲家として独居している高齢者の問題がだぶって見える。

一方で、周囲の人間が、遺された者たちの喪失の悲嘆を癒やすことは困難になってきている。葬儀が故人と遺族の私的な出来事となり、死の悲嘆は社会的には（公には）隠すべきものとなってきている。日常的に深いつきあいをしている人でないと遺族の悲嘆を癒やす助け手となるのは難しいが、その範囲は狭くなって

きている。墓無用論として批判を受けることもある「千の風になって」ではあるが、あのように大ヒットしたのは死後のイメージをきちんと持たなくなつた日本人が、あの歌を通して「故人を身近に感じる」ことで、二人称の死の受け止める助けとしたという側面が強かつたのではないかと考える。

7. 「葬儀」を考える

従来、仏教の葬儀は「家」の先祖祭祀の一部として、一般庶民に広がった。そもそも先祖供養というのは守るべき家産があるからこそ続いていくところがあつて、関係がタテでつながっていくためには、それを担保する経済的な基盤が必要である。社会の構成員の多くが勤め人となつてしまつた状況で、本来の「家」の儀礼を続けていくのは困難をとまなう。「家」が成立しがたくなれば、「檀家」制度も同様であろうかと思われる。

現在、「終活」など死に支度を行うことが話題となつたり、生前に永代供養、末期の援助（プレニード）など、様々な臨死、葬儀サービスが作られてきている。しかし、こうした「自己責任」による死への対策には限界がある。従来、日本人の9割以上が仏教式の葬儀で死を迎えていた。

仏教の教えに従つて死ぬことが「安心して死ねる」ことであり、当たり前のことであるのなら、経済状況や家族の状況に関わらず、仏教の葬儀で送られることができるようにする必要がある。「無縁死者」に仏教葬儀を行う活動は多くのボランティアによって行われているが、各宗派・教団によるサポートが必要になるのではないだろうか。葬送の儀軌を整え、自己および縁者の死を受け止めるための知恵を貸すという従来からの仏教葬儀の意義は変わらないとしても、死にゆくものや家族が孤立しがちな状況、多様化した故人、遺族の状況に柔軟に寄り添える僧侶や宗派・教団としての体制を作ることがますます重要になっていくと考えられる。

（了）

村上興匡（むらかみこうきょう）
プロフィール

一九六〇年群馬県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科修士（宗教学）。文学博士。天台宗総合研究センター研究員。群馬県高崎市天台宗妙典寺副住職。編著書に『慰霊の系譜―死者を記憶する共同体―「社葬の経営人類学」など

本物を知ってほしい

日本薫物線香工業会

理事長 中造 和夫
(なかつくり かずお)



今回は、日本薫物線香工業会の中造理事長から「お香」の話の伺いました。前身である全国薫物線香組合協議会が、業界の広報活動の充実を図るため、平成二十一年に全国五十四社からなる日本薫物線香工業会を設立され、お香の良さを発信されております。取材当日は中造理事長が代表になられている(株)玉初堂に伺いました。会社に近づくにつれ、お香の原料となる様々な香りが、それもきつい香りではなく、ほっとする香りが私たちを迎えてくれました。

お香の歴史

飛鳥時代に仏教の伝来と共に、お香は日本に伝わったと考えられています。また、日本書紀第二十二には推古三年夏四月(五九五年)に「淡路島の西海岸に、一抱えもある大きな枯れ木が流れつき、島人が薪に混ぜてかまどにくべたところ、辺り一面に得も言われぬ薫りが漂ったので、驚いてそれを取り出して朝廷に献上した。」と記述されており、時の聖徳太子は、それが沈水香木であることを既に知っていたと言われております。現在、淡路島一の宮町の伊弉諾神宮に志野流香道二十世蜂谷宗玄宗匠

によって「香碑」が建てられており、この史実を顕彰しております。**奈良時代**においては、お香は主に本堂を浄めて邪気を払う「供香」として用いられ、宗教的意味合いが強く、香料は直接火にくべてたかれていたと考えられております。後に鑑真和上が日本に渡来した際、仏教の戒律の他に、お香や漢方薬の調合法を伝えたとされており、それらを学んだ貴族たちが供香の他に、日常生活の中でも香りを楽しむようになり、この頃から日本の香りの文化が始まったとされています。

平安時代になると、香料を練りあわせて香りを楽しむ「薫物合」が貴族の生活の中で行われ、部屋や衣服、あるいは髪の毛にも香りを薫き染めるようになり、身だしなみの一つとして、盛んに行われるようになりました。

室町時代に入ると、武家がお香をたしなむようになります。香木そのものの香りを極めることが尊ばれ、香の香り聞き、鑑賞する「間

香」(嗅ぐという表現ではなく、香を聞くと表現する)がやはり、当時の銀閣寺は武家のサロンの役割をはたしていたようです。さらには、香りを当てるだけにとどまらず、花鳥風月を盛り込んだ和歌や古典文学と融合し、香り当てから文学的な分野に奥行を深めていきます。

江戸時代には、貴族や武士階級の他に経済力をもった町人にも香の文化が広がります。室町末期から始まった「組香」(香りを聞き分ける遊び)の創作や、多くの優れた香道具が作られ、香を鑑賞するための作法が整えられて「香道」として確立されてまいりました。



現代のお線香へ

お線香は、一六〇〇年頃に中国、朝鮮半島を経由して製造技術が堺と長崎に伝わり、従来のお香と比べて、手軽でかつ一定の香りが長く続くため、庶民のあいだに急速に普及していきました。お線香は長くもつことから「長寿香」とも呼ばれました。約一五〇年前、お線香を乾燥させる工程で淡路島が適していたこと、漁業の閑散期に生産ができることから、生産を堺から淡路島に拡げ、線香職人もそちらで育つようになりました。現在では、全国生産量の約七割は淡路島で生産されています。昭和四十年代後半になりますと、市場の要求により「束詰め」から「バラ詰め」に変わり、煙の少ないお線香の生産など、時代の変遷に伴い、消費者の暮らしにあった形態や新しい香りの開発が続けております。

お香は仏教の儀式に必ず使われておりますが、キリスト教・イスラム教・ユダヤ教でも乳香（樹木

から分泌される樹脂を原料にしたもの）などを使うように、すべての宗教で必需品になっております。

おそらく日本のお香は、世界の品質なのではと自負しており、海外の宗教者や旅行者の方々にも需要が増えております。お香は西洋の香水と違い、動物性の原料を使用しません。強い香りもなく、飽きがこない香りではないでしょうか。海外では、瞑想するときにお香を使用していると聞いております。日本でも、お茶会で席を浄めるためにお香を使用したり、ご寺院の方々も法要だけでなく、たとえば写経会するときなどは道場を浄める際に、お香をお使いになられているのではないのでしょうか。

脈々と続く文化を次世代に

日々の生活の中で、お香を使っていただきたいと思っております。少しの量で構いませんので、いい香りのものをお使いいただきたいものです。当工業会では、消費者にお香の良さを知っていただ

きたく、京都精華大学の漫画専攻学部に漫画の制作を依頼し、全国に無料配布しております。私ごとで恐縮ですが、子供のころ、祖母が毎朝お仏壇にお線香を供えてお祈りしておりました。その香りで目が覚めて一日が始まりました。前々号（六〇四号）で、「お仏壇には日常生活を律するものがある」

という記事がございましたが、お香を含めまして、こうした日本の文化を次世代に伝えていきたいと強く思っております。

冊子の問い合わせ先

日本薫物線香工業会

<http://senko-kogyokai.jp/>

お線香のできるまで



①さまざまな原料（香料）にお湯や着色料を加え、粘土状に練り上げます



②「盆切り」の工程にて、押し出し機から出るお線香を盆板に載せます



④約3日間の乾燥工程を経てから計量・貯蔵・箱詰めして製品として出荷されます



③干し板と呼ばれる木の板にお線香を移し「生付け」の後、裁断して長さを整えます

新年お慶び申し上げます



横浜 鶴見
大本山總持寺
 二祖峨山韶禪師六五〇回大遠忌
 — 平成二十七年奉修 —



曹洞宗宗務庁

管 長 江川辰三
 宗務総長 釜田隆文
 参 議 羽仁素道
 参 議 梅田泰隆
 人事部長 神野哲州
 教学部長 田中千春
 財政部長 橋本壽幸
 教化部長 中村見自
 伝道部長 横井真之
 総務部長 金子清学
 出版部長 塩竈博隆

東京都港区芝二一五—二
 〒105-4485 〇二(三四五)五四—二
 ▼曹洞宗公式サイト「曹洞禅ネット」
<http://www.sotozen-net.or.jp/>

浄土真宗本願寺派

総 長 石上智康
 総 務 本多隆朗
 総 務 藤野堯文
 総 務 仲尾孝誠
 副 総 務 武野公昭
 副 総 務 高橋篤法
 宗門長期振興計画推進対策室長 玉井昭英
 統合企画室長 中尾史峰
子ども若者(縁づくり)推進室長
 浄土真宗本願寺派総合研究所長 佐々木惠精

京都市下京区堀川通花屋町下る
 浄土真宗本願寺派(宗務所)
 〒600-8501 〇七五(三七)五一八一
 F A X 〇七五(三五)一三七一
<http://www.hongwanji.or.jp/>

真宗大谷派

宗務総長 里雄 康意
 参 務 杉浦 義孝
 参 務 木越 涉
 参 務 富田 泰成
 参 務 奥林 暁
 参 務 藤戸 秀庸
参 務 首都圏教化推進本部長
参 務 儀式指導研究所長
参 務 儀典指導研究所長

京都市下京区烏丸通七条上る
 常葉町七五四
 〒600-8505 〇七五(三七)九一八一代表
<http://www.higashihonganganji.or.jp/>

浄土宗

「浄土宗二十一世紀劈頭宣言」

愚者の自覚を
 家庭にみ仏の光を
 社会に慈しみを
 世界に共生を

浄土門主 伊藤唯眞
 宗務総長 豊岡隼尔
 総務局長 中村在徹
 教学局長 山本正廣
 財務局長 浦野瑞明
 社会国際局長 宮林雄彦
 文化局長 岡本宣丈
 総長公室長 浅野義光
 人権同和室長 山北光彦
 災害復興事務局長 新谷仁海
 社会福祉推進事務局長 職員一同

浄土宗宗務庁
 京都市東山区林下町四〇〇—八
 〒605-0062 〇七五(五二)二二〇〇(代)
 F A X 〇七五(五三)五一〇五
 東京都港区芝公園四一七一—四
 〒105-0011 〇三(三四)三三五一(代)
 F A X 〇三(三四)四四〇七四四
<http://jodo.or.jp>

日蓮宗



宗務総長 小林順光
 伝道局長 齊藤憲一
 総務局長 塩崎望巳
 伝道部長 吉田見悠
 教務部長 田中文教
 総務部長 風間隨修
 財務部長 中川法政
 宗務総長室長 小林正雄
 日蓮宗現代宗教研究所長 三原正資
 参 与 山口裕光
 参 与 吉田海心
 日蓮宗新聞社長 草ヶ谷秀人

日蓮宗宗務院
 東京都大田区池上一—三二—一五
 〒146-8544 〇三(三七)五二七一八一
 F A X 〇三(三七)五二七一八六
<http://www.nichiren.or.jp/>

新年お慶び申し上げます

総本山金剛峯寺 高野山真言宗

座長	中西 啓寶	宗務総長	添田 隆昭	総務部長	吉井 惠貫	執務部長	小藪 実英	国際学部長	稲葉 法研	法会部長	廣瀬 義仙	財務部長	山口 文章	山林部長	橋本 真人	数学部長	橋本 真人	社会人局長	佐々木基文	信徒局長	倉岡 弘叔	奥之院維那	加古原大岳
----	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------

和歌山県伊都郡高野町高野山一三三
 〒648-0211 〇七三六(五)二〇一一
 FAX 〇七三六(五)四六四〇
<http://www.koyasan.or.jp/>

臨濟宗妙心寺派宗務本所

管長	嶺 興嶽	宗務総長	栗原 正雄	総務部長	上沼 雅龍	教学部長	山本 文匡	財務部長	瑞岩 眞泰	花園会長	鮎川 博道	法務部長	島崎 義範	花園会館 部長(兼)	上沼 雅龍
----	------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	---------------	-------

京都市右京区花園妙心寺町六四
 〒616-8035 〇七五(四)六三(三)二二二
<http://www.wryoshinji.or.jp/>



天台宗

天台座主	半田 孝淳	宗務総長	木ノ下寂俊	総務部長	阿部 昌宏	参事 法務部長	長山 慈信	参事 財務部長	田中 祥順	参事 教学部長	中島 有淳	参事 社会部長	角本 尚雄	参事 一隅を照らす 運動総本部長	横山 照泰
------	-------	------	-------	------	-------	------------	-------	------------	-------	------------	-------	------------	-------	------------------------	-------

大津市坂本四丁目六番二号
 〒520-0113 〇七七(五)七九(〇)〇二二
 FAX 〇七七(五)七九(二)五二一六
<http://www.tendai.or.jp/>

真言宗智山派宗務庁 総本山智積院法務所

化管 主長	寺田 信秀	宗務総長	小宮 一雄	総務部長	芙蓉 良英	教学部長	細川 大憲	教化部長	近藤 隆俊	法務部長	鵜飼 五大	財務部長	深澤 照生	宗務出張所長 別院執事	近藤 昌俊
----------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	----------------	-------

京都市東山区東大路七条下ル
 〒605-0951 〇七五(五)四一(一)五三六一
<http://www.chisan.or.jp/>

真言宗豊山派宗務所

管長	加藤 精一	宗務総長	坂井 智宏	総務部長	増澤 秀丸	教務部長	菅野 秀浩	財務部長	中 正宣	教化部長	岩脇 彰信	教化センター長	吉田 敬岳	総合研究院院長	平井 宥慶
----	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------	---------	-------	---------	-------

東京都文京区大塚五―四〇―八
 真言宗豊山派宗務所
 〒112-0012 〇三三(三)九四五(〇)六三九
<http://www.buzan.or.jp/>

新年お慶び申し上げます

天台真盛宗務所 総本山西教寺

貫管 首長 西村 冨紹

宗務総長 執事 長 川合 歳明

庶務部長 喚阿 宏道

教学部長 別所 泰広

社会部長 竹澤 良全

財務部長 色井 秀宰

滋賀県大津市坂本五十一三一一
〒520-0113 〇七七(五七八)〇〇一三
FAX 〇七七(五七八)三四一八

和宗総本山 四天王寺

管 長 奥田 聖應
副管長 森田 俊朗

清光院 健代 和央

地藏院 加藤 公俊

真光院 瀧藤 尊淳

施行院 南谷 恵敬

吉祥院 塚原 昭應

奥之院 宮崎 光映

東光院 出口 隆順

静専院 吉田 明良

宝泉寺 廣瀬 善重

一音院 坂本 峰徳

勝鬘院 山岡 武明

中之院 森田 惇朗

大阪府大阪市天王寺区四天王寺
一丁目十一番十八号
〒543-0051 〇六(六七七)〇〇六六
FAX 〇六(六七七)三(四九二)二
<http://www.shitennojori.or.jp/>

総本山仁和寺 真言宗御室派

管 長 跡 立部 祐道

執行総長 瀬川 大秀

総務部長 河西 孝典

教学部長 八木 恵生

執行財務部長 大石 隆淳

京都市右京区御室大内三三三
〒616-8092 〇七五(四六一)一一五五
FAX 〇七五(四六四)四〇七〇
<http://ninna.jp>

真言宗醍醐派宗務本庁 総本山醍醐寺寺務所

座管 主長 仲田 順和

宗務総長 執行 長 壁瀬 宥雅

総務部長 執行 仲田 順英

教学部長 執行 田中 祐考

財務部長 執行 浦郷 宜右

京都市伏見区醍醐東大路町三二
〒601-1325 〇七五(五七一)〇〇〇二
FAX 〇七五(五七一)〇一〇一
<http://www.daijori.jp>
携帯電話でも御覧頂けます。



融通念佛宗 総本山大念佛寺

法管 主長 倍巖 良舜

宗務総長 寺務総長 吉村 暲英

教学部長 法務部長 中江 慈光

庶務部長 岡田 眞澄

財務部長 会計部長 北川 全宏

大阪市平野区平野上町
一七二二六
〒547-0045 〇六(六七九)〇〇二六
FAX 〇六(六七九)三〇五〇
<http://www.dainenbutsuji.com/>

新年お慶び申し上げます

法華宗（本門流）

管 長 石田 日信

宗務総長 二瓶 海照

庶務部長 金井 孝顕

布教部長 久永 晃顕

教学部長 三吉 廣明

財務部長 清水 常光

山田 庸温

東京都中央区日本橋人形町

二一九一

〒103 0013 ○三(五六一)四三〇五五

FAX ○三(五六一)四三〇五六

<http://www.hokkeshu.or.jp>

法華宗（陣門流）

管 長 石丸 日然

宗務総長 佐古 弘文

総務部長 牧野 秀成

教学部長 布施 義高

教化部長 今井 満良

財務部長 金原 孝宜

企画部長 山岸 観深

東京都豊島区巢鴨五―三五―六

〒170 0002 ○三(三九一)八七二九〇

FAX ○三(三九一)八七二九〇

一般財団法人 埼玉県佛教会

会 長 萩野 映明

副会長 木村 盛雄

同 倉持 秀裕

専務理事 深谷 雅良

常務理事 穂山 教雄

同 加藤 玄静

同 糸原 恒久

事務局長 金子 嘉広

さいたま市浦和区高砂

四―一三―一八

〒330 0063 ○四八(八六一)二―一三八

FAX ○四八(八六一)六六四九

<http://saibutu.net/>

神奈川県仏教会

会 長 和田 大雅

副会長 都築 哲信

同 木内 雍明

同 夏見 邦夫

同 丸山 邦雄

事務局長 山本 昭弘

横浜市中区大平町九六

西有寺内

〒231 0859 ○四五(六六一)〇―一六六

京都府仏教連合会

理事長 北川 一有

理事 佐々木 鴻昭

同 里雄 康意

同 栗原 正雄

同 小宮 一雄

同 壁瀬 宥雅

同 橋本 一妙

同 能登 春夫

同 久我 儼昭

同 築瀬 城諒

同 村山 孝純

同 柴山 昌実

同 豊田 元彦

監 事 龍村 豊雄

同 鷺山 靖之

事務局長 鶴野 重雄

京都市東山区林下町四〇〇

総本山知恩院内

〒605 8686 ○七五(五三二)二―一一一

新年お慶び申し上げます

大阪府佛教会

会長 井桁 雄弘
(浄土宗 大圓寺)

副会長 村山 廣甫
(曹洞宗 東光院)

同 森 快隆
(真言宗 葛井寺)

同 加藤 定厚
(浄土真宗本願寺派 大行寺)

同 藪木 恵照
(日蓮宗 妙浄寺)

事務局長 二上 寛弘
(真言宗 釋迦院)

事務局
大阪市港区築港一―十三―三
〒552 0021 〇六(六五七)五七一〇
釋迦院内

公益財団法人 仏教伝道協会

会長 (代表理事) 沼田 智秀

名誉会長 (理事) 福山 諦法

理事 木村 清孝

同 上山 大峻

同 桂 紹隆

同 門脇 邦彦

同 野村 邦武

同 中谷 忠雄

常務理事 生田 忠士

監事 中野 東禪

同 松村 智司

〒108 0014
東京都港区芝四丁目三―一―四
電話 〇三(三四五五)五八五一
FAX 〇三(三七九八)二七五八
<http://www.bdk.or.jp>

金峯山修験本宗 総本山金峯山寺

管長 五條 覚照

宗務総長 田中 利典

執行長 五條 良知

奈良県吉野郡吉野町吉野山二四九八
〒639 3115 〇七四六(三三)八三七一
FAX 〇七四六(三三)四五六三
<http://www.kinpusen.or.jp>

念法真教 総本山小倉山金剛寺

燈主 稲山 靈芳

大阪市鶴見区緑三―四―一二
〒538 0054 〇六(六九一一)二二〇一
<http://www.nenpoushinkyou.jp>

真言三宝宗 大本山清澄寺

法管主長 坂本 光謙

宗務長 岡田 康秀

執行長 有井 良隨

鉄斎美術館 長 森藤 光宣

宝塚市米谷字清シ一番地
〒665 0837 〇七九七(八六)六六四一
FAX 〇七九七(八六)六六六〇
<http://www.kyoshinkojin.or.jp>

信貴山真言宗 総本山朝護孫子寺

管長 鈴木 貴晶

前管長 田中 眞瑞

長老 鈴木 鳳永

宗務長 野澤 密孝

奈良県生駒郡平群町信貴山
〒636 0923 〇七四五(七二)二二七七
一三二八〇一

真宗高田派 本山専修寺

宗務総長 安藤 光淵

総務 藤森 邦夫

総務 鈴木 紀生

三重県津市一身田町二八一九番地
〒514 0114 〇五九(三三)四一七一
FAX 〇五九(三三)一四一四

黄檗宗

管長 岡田 巨令

宗務総長 浅井 聖道

京都府宇治市五ヶ庄三番割三四
〒611 0011 〇七七四(三三)三九〇〇
FAX 〇七七四(三三)六〇八八

新年お慶び申し上げます

顕本法華宗

管 長 山本 日恵
宗務総長 朝倉 俊幸

顕本法華宗宗務院
京都市左京区岩倉幡枝町九十一
〒606-0015 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

本門佛立宗 本山宥清寺

講 有 山内 日開
宗務総長 木村 日覚

本山宥清寺
〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入
滝ヶ鼻町一〇〇五番地の一
TEL 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一
本門佛立宗 宗務本庁
〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る
東堅町一一〇番地
TEL 〇七五(四六一)一一六六(代)
FAX 〇七五(四六四)五五九九
京都佛立ミュージアム
TEL 〇七五(二八八)三三三四
URL <http://www.hbsmuseum.jp>
E-mail: honchou@honmon-butsumyushu.or.jp

真言律宗 総本山西大寺

真言律宗管長
総本山西大寺長老
大矢 實圓

奈良市西大寺芝町二丁目一の五
〒631-0825 〇七四二(四五)四七〇〇
FAX 〇七四二(四五)四七二〇

福島県仏教会

会 長 石田 宏壽

専務理事 伊東 寂俊
事務局長 三瓶 信晃

福島県郡山市開成三十三〜十四
道因寺内
〒963-8851 〇二四(九三三)三〇三二
FAX 〇二四(九三三)三〇九六

東京都仏教連合会

会 長 神田 秀順
理事長 山田 一眞
事務局長 新倉 典生

東京都足立区梅田一―二十六―十
善立寺内
〒123-0851 〇三(三八八六)一三六七
FAX 〇三(三八八六)八二五二

愛知県仏教会

会 長 伊藤 正導

副会長 舎人 経昭
同 近藤 太康
同 岩木 涼山

名古屋市中天白区植田一―三十一―
全久寺内
〒468-0051 〇五二(八九三)九二九〇
FAX 〇五二(八九三)九二九〇

愛媛県仏教会

会 長 福村 俊弘
副会長 内藤 卓洲
同 岡田 敬学
事務局長 怒和 智幸

愛媛県松山市安城寺町二二七二
安祥寺内 愛媛県仏教会事務局
〒791-8006 〇八九(九七九)〇〇六九



公益社団法人 全日本仏教 婦人連盟

名誉会長 鷹司 誓玉
会 長 東伏見具子
理事長 末廣 久美

東京都渋谷区千駄ヶ谷
四一五―十一―二〇五
〒151-0051 〇三(五七七二)〇六七七
FAX 〇三(六四三四)〇一八四
<http://jbwf.jp>
E-mail: info@jbwf.jp

公益財団法人 国際仏教興隆協会

名誉会長 河村 建夫
印度山 半田 孝淳
日本寺竺三主
理事長 安田 映胤
事務総長 正本 乗光
役員一同

東京都目黒区中目黒五―二四―五三
〒153-0061 〇三(三七一一)七六〇八
FAX 〇三(三七一一)七六七三
<http://www.iba.jp/>
E-mail: jimukyoku@iba.jp

聖観音宗 浅草寺

執事長 守山 雄順

東京都台東区浅草一―三一―
〒111-0032 〇三(三八四二)〇一八一
FAX 〇三(三八四五)六九三三

新年お慶び申し上げます

孝道教団

統 理 岡野 正純

横浜市神奈川区鳥越三八
〒221-0064 ○四五(四三三)一二〇一
FAX ○四五(四三四)一一八八

真言宗大覚寺派宗務庁 大本山大覚寺

管 門 跡 黒沢 全紹

京都市右京区嵯峨大沢町四
〒616-8411 ○七五(八七七)〇〇七一
FAX ○七五(八七一)〇〇五五

総本山 根来寺

新義真言宗宗務所

和歌山県岩出市根来二二八六
総本山 根来寺内
〒649-6202 ○七三六(六六二)一一四四
FAX ○七三六(六六二)一〇四四

大本山須磨寺

貫 主 小池 弘三

神戸市須磨区須磨寺町四一六一八
〒654-0071 ○七八(七三二)〇四一六

真言宗中山寺派

大本山中山寺

宝塚市中山寺二丁目十一一
〒665-8588 ○七九七(八七七)〇〇二四
FAX ○七九七(八七七)九八七七
<http://www.nakayamadera.or.jp>

東寺真言宗

宗務総長 橋本 尚信

京都市南区九条町一
東寺真言宗宗務庁
〒601-8473 ○七五(六七二)三七一七
FAX ○七五(六六一)六八五六

西山浄土宗 総本山光明寺

京都府長岡京市粟生西条の内
二六番地の一
〒617-0811 ○七五(九五五)〇〇〇二
FAX ○七五(九五三)二二六四

時宗宗務所

宗務総長 桑原 弘善

神奈川県藤沢市西富一一八一
〒251-0001 ○四六六(一一三)七二七六
遊行寺内

臨済宗円覚寺派

大本山円覚寺

鎌倉市山ノ内四〇九
〒247-8503 ○四六七(二二二)〇四七八
<http://www.engakuji.or.jp>

臨済宗相国寺派

大本山相国寺

京都市上京区今出川通烏丸東入
相国寺門前町七〇一番地
〒602-0898 ○七五(二三二)〇三〇一
FAX ○七五(二二二)三五九一
<http://www.shokoku-ji.jp>

法華宗(真門流)

管 長 田仲 日紘

京都市上京区智恵光院通五辻上る
紋屋町三三〇
〒602-8447 ○七五(四四一)五七六二
FAX ○七五(四四一)五六六六

北海道仏教会連盟

会 長 黒田 正宣

札幌市中央区北三条西十九丁目二一
浄土真宗本願寺派北海道教区事務所内
〒060-0003 ○一一(六一)九六二二

茨城県仏教会

会 長 松本 一浩

茨城県筑西市甲一六八 蔵福寺内
〒308-0021 ○二九六(二四〇)一四九
FAX ○二九六(二五)五九〇九

岐阜県仏教会

会 長 橋 正信

岐阜市西野町三一
岐阜西別院庫裡
〒500-8882 ○五八(二六六)七八〇三
FAX ○五八(二一四)四〇八一
<http://bukkyogifu.net/>

滋賀県仏教会

会 長 西村 問紹

滋賀県大津市坂本五一一三一
総本山西教寺内
滋賀県仏教会事務局
〒520-0113 ○七七(五七八)〇〇一三
FAX ○七七(五七八)三四一八

新年お慶び申し上げます

岡山県佛教会

会長 亀山 俊巨

岡山県倉敷市羽島九〇九 心鏡寺内
〒710-0043 〇八六(四二二)三三一一

公益社団法人 日本仏教保育協会

理事長 緑谷 一雄

東京都港区芝公園四一七四 明照会館二階
〒105-0011 〇三(三四三二)七四七五
FAX 〇三(三四三二)一五一九

全日本仏教青年会

理事長 伊東 政浩

神奈川県横浜市南区 南太田一―二四―四一
日蓮宗常照寺内
〒232-0006 〇四五(七三一)四三六六
http://www.jyfbare.jp/
E-mail: info@jyfbare.jp

日本仏教鑽仰会

理事長 中山 静磨

東京都板橋区舟渡四一五五一―
〒174-0041 〇三(三九六七)三二八八

一般社団法人 仏教情報センター

代表理事 高橋 隆岱

東京都文京区本郷 一―四―六一―二〇二
〒113-0033 〇三(三八一三)六五七七
FAX 〇三(三八一三)六七九四

日韓仏教交流協議会

会長 藤田 隆乗

神奈川県川崎市川崎区大師町四一四八
〒210-8521 〇四四(二六六)三四二〇
FAX 〇四四(二七七)八一六三

天台寺門宗
妙見宗

真言宗善通寺派

真言宗山階派

真言宗泉涌寺派

真言宗国分寺派

真言宗犬鳴派

浄土宗西山禅林寺派

浄土宗西山深草派

真宗佛光寺派

真宗興正派

真宗木辺派

臨済宗南禅寺派

臨済宗建長寺派

臨済宗天龍寺派

臨済宗東福寺派

本門法華宗

法相宗

聖徳宗

華嚴宗

律宗

青森県仏教会

岩手県仏教会

栃木県仏教会

群馬県仏教会

千葉県仏教会

新潟県仏教会

石川県仏教会

福井県仏教会

山梨県仏教会

長野県仏教会

静岡県仏教会

京都仏教会

兵庫県仏教会

和歌山県仏教会

鳥取県仏教会

島根県仏教会

(一社) 徳島県仏教会

香川県仏教会

高知県仏教会

福岡県仏教会

長崎県仏教会

宮崎県仏教会

沖縄県仏教会

東京ブディストクラブ
(二社) 在家仏教協会

賛助会員

十二月十二日現在 (敬称略)

〔特別会員〕

大本山東福寺

蓮華院誕生寺

尾道仏教会

實相山中央寺

信州善光寺

妙見閣寺

一般社団法人仙台仏教会

壺阪山南法華寺

遠藤 楚石

川原 英照

村上 邦雄

南澤 道人

若麻績敏隆

竹内 祥起

常盤 勝範

〔団体会員〕

京セラ株式会社

東映株式会社

大建工業株式会社 (建築)

日鐵住金建材株式会社 (建築)

株式会社ビタコラム (建築)

綜合警備保障株式会社城東支社

東京海上日動火災保険株式会社広域法人部法人第一課

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

大和証券株式会社 営業サポート部

野村證券株式会社 金融公共公益法人部

朝日ビジネスソリューション株式会社 (コンサルティング)

株式会社JTBコーポレートセールス第一事業部 (旅行)

トップツアー株式会社 (旅行)

近畿日本ツーリスト株式会社 (旅行)

東日観光株式会社 (旅行)

株式会社ビーエス観光 (旅行)

株式会社大陸旅遊 (旅行)

株式会社わらび座 (旅館・劇団)

日本空輸株式会社 (旅行・貨物)

一般財団法人ライフプランニングセンター (医療関連)

日本テンプルヴァン株式会社 (寺院経営コンサルタント)

有限会社新宿アウンテイングオフィス (経営コンサルタント)

株式会社社縁 (寺社仏閣総合リスコンサルタント)

凸版印刷株式会社 (印刷)

株式会社図書印刷同朋舎 (印刷)

テイケイヘンデルアート (印刷)

株式会社オメガコム (翻訳、出版物企画・制作)

株式会社デイ・エイ・コーポレーション (出版物企画・制作)

新日本法規出版株式会社 (法規図書出版)

株式会社便利堂 (美術印刷・企画)

有限会社ルンビニ (保険代理店)

株式会社京念珠刑部 (念珠製造・販売)

新年お慶び申し上げます

- 個人会員**
- 稲盛 和夫 (京セラ株式会社名誉会長)
 - 社本 公一 (公認会計士)
 - 池田 行信 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 - 石上 智康 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 - 塩月 光夫 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 - 高橋 篤法 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 - 武田 昭英 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 - 村橋 吉重 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 - 天性寺 俊行 (山形県)
 - 福聚院 毛利 廣三 (宮城県)
 - 東栄寺 大森 忠篤 (埼玉県)
 - 法瑠寺 矢島 浄純 (埼玉県)
 - 建福寺 安野 正樹 (埼玉県)
 - 萬福寺 垣内 善勝 (東京都)
 - 本照寺 境野 哲秀 (東京都)
 - 慈眼寺 櫻井 英幸 (東京都)
 - 浄心寺 佐藤 雅彦 (東京都)
 - 株式会社京扇堂 (扇子製造・販売)
 - 株式会社小堀 (仏壇仏具製造・販売)
 - 株式会社公益社 (葬祭)
 - 株式会社みなのお葬式 (葬祭)
 - 株式会社ダイセイ (総合商社)
 - 株式会社いせや (石材業)
 - 株式会社安震 (石材業)
 - 仏教看護・ビハラー学会
 - 全日本宗教用具協同組合
 - 全日本葬祭業協同組合連合会
 - 岩手県葬祭業協同組合
 - 埼玉葬祭業協同組合
 - 東京都葬祭業協同組合
 - 神奈川県葬祭業協同組合
 - 岐阜県葬祭業協同組合
 - 名古屋葬祭業協同組合
 - 愛知県葬祭業協同組合
 - 京都中央葬祭業協同組合
 - 大阪葬祭業協同組合
 - 大阪市規格葬儀指定店事業協同組合
 - 徳島県中央葬祭業協同組合
 - 福岡県葬祭業協同組合
 - 長崎県葬祭業協同組合
 - 一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
 - 一般社団法人日本石材産業協会

- 信松院 西村 輝成 (東京都)
- 玉林禅寺 長谷 琢堂 (東京都)
- 慶安寺 深澤 信善 (東京都)
- 廣徳寺 板坂 光明 (神奈川県)
- 大蔵寺 佐藤 直道 (神奈川県)
- 金蔵院 眞田 有快 (神奈川県)
- 龍泉寺 壽山 良光 (神奈川県)
- 圓満寺 西郊 良光 (神奈川県)
- 正泉寺 野澤 隆幸 (神奈川県)
- 玄向寺 荻須 眞教 (長野県)
- 本光寺 木村 光正 (静岡県)
- 十楽寺 井口 真躍 (滋賀県)
- 寂光院 松平 實胤 (愛知県)
- 光泉寺 松山 公顯 (愛知県)
- 太福寺 佐久間大道 (兵庫県)
- 精明寺 正田 哲壽 (鳥取県)
- 誓光寺 村上 智真 (山口県)
- 小川 昌美 (東京都)
- 小林 昇 (東京都)
- 鈴木 朝雄 (東京都)
- 鳥居 邦夫 (東京都)
- 天久保 貴 (神奈川県)
- 佐藤 泰之 (神奈川県)
- 中村美津江 (神奈川県)
- 山崎 忠征 (愛知県)
- 中村 澄枝 (京都府)
- 安田 容造 (京都府)
- 平野 泰寛 (和歌山県)
- 田中 悠樹 (長野県)
- 和心庵 井上美和子 (佐賀県)
- 三日月大造 (滋賀県知事)
- 岩屋 毅 (自由民主党前衆議院議員)
- 大塚 高司 (自由民主党前衆議院議員)
- 金子 恭之 (自由民主党前衆議院議員)
- 上川 陽子 (自由民主党前衆議院議員)
- 河村 建夫 (自由民主党前衆議院議員)
- 高村 正彦 (自由民主党前衆議院議員)
- 今野 智博 (自由民主党前衆議院議員)
- 関 芳弘 (自由民主党前衆議院議員)
- 高市 早苗 (自由民主党前衆議院議員)
- 西川 京子 (自由民主党前衆議院議員)
- 野田 毅 (自由民主党前衆議院議員)
- 平沢 勝栄 (自由民主党前衆議院議員)
- 保利 耕輔 (自由民主党前衆議院議員)

- 牧島かれん (自由民主党前衆議院議員)
- 松本 文明 (自由民主党前衆議院議員)
- 赤石 清美 (自由民主党参議院議員)
- 岩城 光英 (自由民主党参議院議員)
- 片山さつき (自由民主党参議院議員)
- 小坂 憲次 (自由民主党参議院議員)
- 佐藤ゆかり (自由民主党参議院議員)
- 武見 敬三 (自由民主党参議院議員)
- 中川 雅治 (自由民主党参議院議員)
- 二之湯 智 (自由民主党参議院議員)
- 早坂 義弘 (自由民主党東京都議会議員)
- 赤松 広隆 (自由民主党前衆議院議員)
- 荒井 聰 (自由民主党前衆議院議員)
- 枝野 幸男 (自由民主党前衆議院議員)
- 大串 博志 (自由民主党前衆議院議員)
- 高木 義明 (自由民主党前衆議院議員)
- 原口 一博 (自由民主党前衆議院議員)
- 前原 誠司 (自由民主党前衆議院議員)
- 松本 剛明 (自由民主党前衆議院議員)
- 大塚 耕平 (自由民主党参議院議員)
- 大野 元裕 (自由民主党参議院議員)
- 斎藤 嘉隆 (自由民主党参議院議員)
- 白 眞勲 (自由民主党参議院議員)
- 林 久美子 (自由民主党参議院議員)
- 福田 哲郎 (自由民主党参議院議員)
- 前田 武志 (自由民主党参議院議員)
- 中山 恭子 (次世代の党参議院議員)
- 浅尾慶一郎 (無所属前衆議院議員)
- 大西 孝典 (元衆議院議員)
- 楠田 大蔵 (元衆議院議員)
- 仙谷 由人 (元衆議院議員)
- 田島 一成 (元衆議院議員)
- 長勢 甚遠 (元衆議院議員)
- 平岡 秀夫 (元衆議院議員)
- 松木 謙公 (元衆議院議員)
- 和田 隆志 (元衆議院議員)
- 佐藤 公治 (前参議院議員)
- 佐藤 泰介 (前参議院議員)
- 自見庄三郎 (前参議院議員)
- 鈴木 寛 (前参議院議員)
- 鈴木 政二 (前参議院議員)
- 田名部匡省 (前参議院議員)
- 谷川 秀善 (前参議院議員)
- 藤谷 光信 (前参議院議員)

- 第三十一期役員**
- 会長** 加藤 精一
- 副会長** 常磐井慈祥
- 評議員** 鷹司 智玉
- 監事** 井桁 雄弘、古澤 勝浩、山中 一郎
- 顧問弁護士** 長谷川正浩
- 総務財政審議会** 山崎 孝裕、尾井 貴童、下野 真人、浦野 瑞明、中川 法政、廣瀬 義仙、上沼 雅龍、阿部 昌宏、深澤 照生、中 正宣
- 社会・人権審議会** 我孫子高宏、宇野 哲哉、寺田 正寛、山北 光彦、三原 正資、佐々木基文、森 昌寛、角本 尚雄、近藤 隆俊、阿部 秀全、竹澤 良全、株橋 隆真、篠田 節子、高木 佳子
- 国際交流審議会** 古沢 理哉、野崎 慶至、藤田 哲史、宮林 雄彦、佐々木康文、小藪 実英
- WFB日本ゼンター運営委員会** 小林 正道、戸松 義晴、日比野郁皓、村山 博雅、木内 隆志、壽山 良光、入西 智彦
- 広報委員会** 山本 雅彦、辻本 祐子、岡本 宣丈、富川 大亮、山口 文章、松原 信樹、福井 邦彦、杉本 栄次、杉山 晶信、金子 嘉広、新倉 典生、吉水 智栄、小川 淳詩、関岡 俊二
- 宗教教育推進委員会** 坂田 徹応、白川 了信、勅使 忍、新谷 仁海、斎藤 憲一、倉岡 弘叔、細川 晋輔、中島 有淳、渡邊 照敬、森 光彦

新年お慶び申し上げます

宗派代議員

川中 利典 田中 光覚 座間 雄順 守山 明良 吉田 貞男 草野 良範 一宮 孝範 福井 智潤 菅 大秀 瀬川 浩哉 藤田 宥雅 壁瀬 真教 糟谷 真教 井上 真央 今井 章圓 岡田 康秀 野澤 密孝 貞吉 興道 吉村 増亮 久我 儼昭 加藤 良邦 日下 俊精 藤森 邦夫 八木 浄顯 桑原 弘善 中江 慈光 齋藤 宗徹 高井 正俊 榎 承昭 山木 雅昌 龜山 琢道 木村 信安 三吉 廣明 山岸 観深 堀 智泰 川手 日成 古谷 正覚 平岡 昇修 平岡 正道 西尾 明彦

都道府県仏教会・ 仏教団体代議員

黒田 正宣 工藤 裕雅 上田 浩久 石田 宏壽 松本 一浩 若槻 繁隆 荻野 映明 新倉 典生 井澤 孝一 和田 博祐 磯貝 大徹 萩須 眞信 橋 正信 梶浦 琢磨 舎人 經昭 前阪 良憲 吉田 清順 北川 一有 村山 廣甫 篠原 法傳 柳瀬 智明 正田 哲壽 龜山 義巨 岡部 俊典 乃村 龍決 怒和 智幸 伊東 聖隆 一月 正人 弘中 康之 仲尾 敏雄 末廣 久美 生田 忠士 高山 久照 逸見 道郎 根岸 榮宏 伊東 政浩 中山 秀成 高橋 隆光 西村 隆利

財団創立六十 周年記念事業 実行委員会

実行委員長
齋藤 明聖

実行副委員長

千葉 省三 倉澤 豊明 戸松 義晴 塩崎 望巳 添田 隆昭 上沼 雅龍 杜多 徳雄 山口 正純 菅野 秀浩 瀧藤 尊淳 岡野 正純 桶屋 良祐 石堂 恵眼 山田 一眞 和山 大雅 杉山 令憲 伊藤 正導 長澤 香静 鶴野 重雄

勸募部会

阿部 昌宏 吉田 明良 金子 史朗 川島 俊之 細田 昌弘 中 正宣 菅 智潤 河西 孝典 小池 陽人 野澤 密孝 宮林 雄彦

全日本仏教徒 会議・記念式 典部会

武久 宗靖 三吉 廣明 牧野 秀成 工藤 裕雅 上田 浩久 伊東 寂俊 松本 一浩 井上 広法 新倉 典生 和田 博祐 磯貝 大徹 萩須 眞教 梶浦 琢磨 伊東 政浩 金子 嘉広

WFB・WFBY 日本大会部会

五條 良知 正本 乗光 木内 隆志 壽山 良光 入西 智彦 村山 博雅 小林 正道 日比野 郁皓

記念誌編纂部会

福田 芳修 三吉 廣明 高山 久照 岩田 智充 上村 隆利 池田 行信 山本 観晃 入西 智彦 (敬称略)

事務総局

事務総長
倉澤 豊明

総務部

奈良 慈徹 中村 甲 山崎美由紀

財務部

大辻 隆善 小山 智恵

社会・人権部

久喜 和裕 町田 法博 東田 樹治

広報文化部

加久保範祐 西野 良嘉

国際部

藤谷 弘道 藤田 宗玄

嘱託

酒井 仁成

関西支局長

東森 尚人 支局員一同

無料法律相談室

本会顧問弁護士の長谷川正浩先生が、寺院向け無料法律相談を開催しております。
(主に第一・第四木曜 日要事前予約)



TEL.03-3437-9275

社会・人権部までお問合せ

賛助会員募集中

本会では賛助会員を募集しております。全国のご寺院をはじめ、個人や団体としてご入会いただけます。入会等の詳細は本会ホームページをご覧ください。



入会者には輪袷袋が進呈されます

賛助会員新会員ご紹介

団体会員

大建工業株式会社 (建築)

(敬称略)

個人会員

小川 昌美 (東京都)

ご入会いただきありがとうございます

寺院が知っておきたい法律知識はお休みします。



本会「救援基金」へご寄附のお願い

本会では、国内外における甚大な自然災害救援や人道的支援等に対し、緊急且つ迅速な対応をすべく「救援基金」を常時開設しております。今後も状況を見据えた上、被災地・被災者の救援活動を支援してまいります。つきましては、加盟団体、全国のご寺院、檀信徒・門徒、そして宗派・宗教を超えて、みなさまの温かい浄財をお寄せいただければ幸いです。

救援基金は下記口座までお寄せくださいますよう、宜しくお願い申し上げます。



広島市役所にて災害義援金を手交（昨年11月19日）
（左から広島市仏教会加用理事、同猪原会長、松井一貴広島市長、本会倉澤事務総長、同奈良総務部長）

【郵便振替口座】 口座番号 00110-9-704834
口座名義人 全日本仏教会救援基金
●お問い合わせ先 全日本仏教会 財務部 TEL: 03-3437-9275

「救援基金」寄付者一覧

（二〇一三年十二月十九日）
二〇一四年十一月三十日

東日本大震災等

- 新瀧県仏教会
- 小千谷市仏教会（新潟県）
- 一般財団法人 埼玉県佛教会
- 岡山県佛教会
- 茨城県仏教会
- 株式会社 わらび座
- 埼玉葬祭業協同組合
- 齊藤清美 親類一同（福岡県）
- 寂光院（愛知県）
- 玉林寺（東京都）
- 菊川市仏教会菊川支部（静岡県）
- 金蔵院 眞田有快（神奈川県）
- ずんや株式会社
- 神奈川県葬祭業協同組合
- 大蔵寺（神奈川県）
- 駒込学園
- 佐野友則（茨城県）
- 天性寺（山形県）
- 大阪府佛教会
- 浄土真宗本願寺派 奈良教区
- 添下組 若院会会長 鳥見浩憲
- 圓福寺（岡山県）
- 日本仏教鑑仰会 理事長 中山静磨
- 釋明光（台北市佛教会理事長）
- 株式会社 小堀
- 山梨県仏教会
- 融通念佛宗
- 松木謙公（前衆議院議員）
- 青森県仏教会
- 株式会社ディー・エイ・ティ・
- コーポレーション

神奈川県仏教会
匿名希望五件

合計

二百二十七万九千八百四十四円

フィリピン台風

- 株式会社 わらび座
- 埼玉葬祭業協同組合
- 建福寺 安野正樹（埼玉県）
- 中央寺（北海道）
- 全日本宗教用具協同組合
- 時宗
- 寂光院（愛知県）
- 一般財団法人 埼玉県佛教会
- 茨城県仏教会
- 松本剛明（民主党衆議院議員）
- 融通念佛宗
- 長野県仏教会
- 株式会社 小野屋漆器店
- 愛知県仏教会
- 廣徳寺（神奈川県）
- 靈岩寺 川橋止秀（愛知県）
- 大蔵寺（神奈川県）
- 一般社団法人 日本石材産業協会
- 善光寺（長野県）
- 大塚耕平（民主党参議院議員）
- 本門佛立宗
- 天台宗 一隅を照らす運動総本部
- 高野山真言宗
- 新瀧県仏教会
- 西山浄土宗
- 真言宗智山派
- 真言宗豊山派
- 匿名希望三件

合計

五百五十三万二千六百八十一円

台風・豪雨被害

- 圓満寺 西郊良光（神奈川県）
- 浄心寺 佐藤雅彦（東京都）
- 全日本宗教用具協同組合
- 赤松広隆（民主党衆議院議員）
- 律宗
- 一般財団法人 埼玉県佛教会
- 一般社団法人 日本石材産業協会
- 大塚耕平（民主党参議院議員）
- 前原誠司（民主党衆議院議員）
- 松平實胤（愛知県）
- 時宗
- 有限会社 新宿カウティングオフィス
- 宮崎市仏教会
- 玄向寺 荻須眞教（長野県）
- 高野山真言宗
- 青森県仏教会
- 善光寺（長野県）
- 岡山県佛教会
- 天台宗 一隅を照らす運動総本部
- 真言宗智山派
- 茨城県仏教会
- 真言宗豊山派福祉基金
- 本門佛立宗
- 匿名希望一件
- （以上掲載順不同敬称略）

合計 二百七十八万四千四十四円

総額 一千五十七万三千五百三十九円

「支援、誠に有難うございました。」

災害救援活動に対する助成金のご案内

- **支援対象事業** 寺院（住職・教師等）が主体の団体による、被災地域住民のために行う事業。
○被災地におけるボランティア活動（例・炊き出し、傾聴ボランティア、瓦礫撤去、足湯等）
○被災地の子どもを対象とした保養事業（例・被災地の子どもを他地域に招いての寺子屋・キャンプ開催など）
※同一団体からの申請は一事業一件のみといたします、また同一事業複数開催は、全体で一事業とみなします
- **申請対象活動期間** 2014（平成26）年9月1日～2015（平成27）年1月31日
- **助成金額** 一件につき事業経費の50%、10万円を上限に拠出
※事業経費とは、支援活動にかかる費用（交通費、宿泊費、材料費・運搬費、講師謝礼等）であり、支援活動者の日当など人件費は含まれません。
- **申込締め切り** 2015（平成27）年2月16日（月）16時必着
- **申込方法** 本会ホームページから各書式をダウンロードし、もれなく記入して郵送にてご提出ください。その他必要な添付書類も一緒に添えて申請してください。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。
▶ <http://www.jbf.ne.jp>
- **申込先・お問い合わせ先**
全日本仏教会 財務部 TEL：03-3437-9275



事務総局録事

11月（1日～15日）

- 4日 ▶ 民主党大島九州男参議院議員訪問 東京・参議院議員会館
- 5日 ▶ 野村證券(株)塚崎氏他来局 本会会議室
- 6日 ▶ 東京プリンスホテル秋山氏来局 本会会議室
- 7日 ▶ インド大使館主催IBCレセプション出席
東京・在日本インド大使館
▶ 朝日ビジネスソリューション(株)渡辺氏他来局 本会会議室
- ▶ (株)ディー・エイ・ティ・コーポレーション永原氏他来局 本会会議室
- 10日 ▶ 日本薫物線香工業会訪問 大阪・(株)玉初堂
▶ 京都念珠製造販売事業協同組合訪問
京都・(株)安田念珠店
- ▶ 大和証券(株)熊田氏他来局 本会会議室
- 11日 ▶ 局内会議 本会会議室
- 12日 ▶ 自由民主党団体総局岩松氏訪問 東京・自由民主党本部
▶ 平成26年分年末調整等説明会出席
東京・メルパルクホール
- ▶ 日鐵住金建材(株)石川氏来局 本会会議室
- ▶ 無料法律相談室
- 13日 ▶ (公財)日本宗教連盟主催「第7回宗教と生命倫理シンポジウム」参加 東京・セレニティーホール
▶ 曹洞宗宗務庁訪問 東京・曹洞宗宗務庁
- 14日 ▶ 浄土真宗本願寺派築地本願寺訪問 東京・築地本願寺
▶ InterFaith実行委員松山師来局 本会会議室
▶ 野村證券(株)塚崎氏来局 本会会議室
▶ 第7回全日本仏教会・全日本葬祭業協同組合連合会懇談会開催 東京・品川プリンスホテル

11月（16日～30日）

- 18日 ▶ (公財)日本宗教連盟幹事会・理事会出席 東京・新宗連会館
▶ BNN企画委員会出席 東京・庭野平和財団

- ▶ 第49回大阪府佛教徒大会出席 大阪・ホテル日航大阪
- ▶ 東京プリンスホテルと打ち合わせ 東京・東京プリンスホテル

- 19日 ▶ 法相宗大本山薬師寺訪問 奈良・薬師寺
▶ 広島市役所訪問 広島・広島市役所
▶ 浄土真宗本願寺派広島別院訪問 広島・浄土真宗本願寺派広島別院
- ▶ 広島市仏教会常任理事会出席 広島・浄土真宗本願寺派広島別院
- ▶ 法華宗(本門流)本能寺訪問 京都・本能寺
▶ 京都マラソン事務局訪問 京都・京都マラソン事務局
- 20日 ▶ (公財)新日本宗教団体連合会主催「第3回現代社会と信教の自由・公開講座」参加 東京・セレニティーホール
▶ 大建工業(株)内海氏他来局 本会会議室
- 21日 ▶ 日本弁護士連合会江藤弁護士訪問 東京・弁護士会館
▶ 法華宗(本門流)宗務所訪問 東京・法華宗(本門流)宗務所
- ▶ キヤノンマーケティングジャパン(株)高橋氏他来局 本会会議室

- 25日 ▶ 総合警備保障(株)訪問 東京・総合警備保障(株)城東支社
▶ 第2回評議員選定委員会開催 本会会議室
- 26日 ▶ 民主党職員朝賀氏来局 本会会議室
- 27日 ▶ 愛媛県仏教会内藤大会実行委員長来局 本会会議室
▶ (公財)仏教伝道協会古澤氏来局 本会会議室
▶ 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険(株)大池氏他来局 本会会議室
- ▶ 無料法律相談室
- 28日 ▶ 仏教主義学校連盟主催第31回弁論大会出席 東京・立正大学附属立正中学校高等学校

哀悼

清水谷孝尚師 (本会第28期副会長)
渡邊恵進師 (本会第25期副会長)

聖観音宗貫首 10月28日遷化 94歳
前天台座主 11月13日遷化 104歳

シリーズ累計頒布枚数20万枚以上!

日本一売れている

花まつり

ポスター、1/10頒布開始!!

全日本仏教会では花まつりの全国展開を推進すべく、40年以上にわたり花まつりポスターを頒布しています。かわいらしい、わかりやすいデザインのポスター、伝統を感じさせるデザインのポスター等々、日本一の頒布実績を誇る「花まつりポスター」を是非、皆様の花まつり告知にご活用ください!

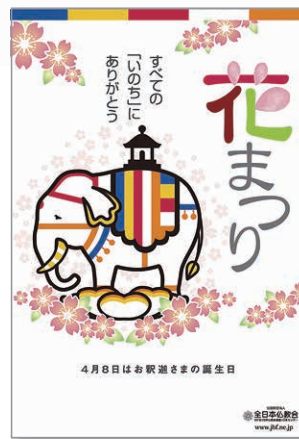
ポスター A 蓮と仏像



ポスター B お稚児



ポスター C 白象と仏旗



<短冊サイズ>
ポスター D 白象と仏旗



伝統ある、
飽きのこないデザイン
が根強い人気の
ポスターです。

目立つデザインで
注目を集めやすく、
保護者の方々にも
好評です。

昨年度一番人気。
幅広い年齢層に
なじみやすい
デザインです。

短冊サイズ。
横の大きさが半分で、
お値段もお求めやすく
なっています。

- ポスター下部の余白に、地域での開催告知等の書き込み、貼り付けをすることができます。
- 頒布価格 1枚50円(短冊サイズは30円) ※別途送料、梱包料がかかります
- 種類により品切れになる場合がございます。お申し込みはお早めをお願いいたします。

お申込みは、全日本仏教会ホームページよりお願いいたします。

<http://www.jbf.be.jp>

QRコードは
こちら



【お問い合わせ】 広報文化部 担当:西野 良嘉 r-nishino@jbf.ne.jp
TEL 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260

全日仏 検索

2015年1月1日発行
1月号 第606号

全日仏

発行人 倉澤 豊明
発行所 公益財団法人 全日本仏教会
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2階 TEL 03(3437)9275 FAX 03(3437)3260
印刷所 ティケイ ヘンデル アート